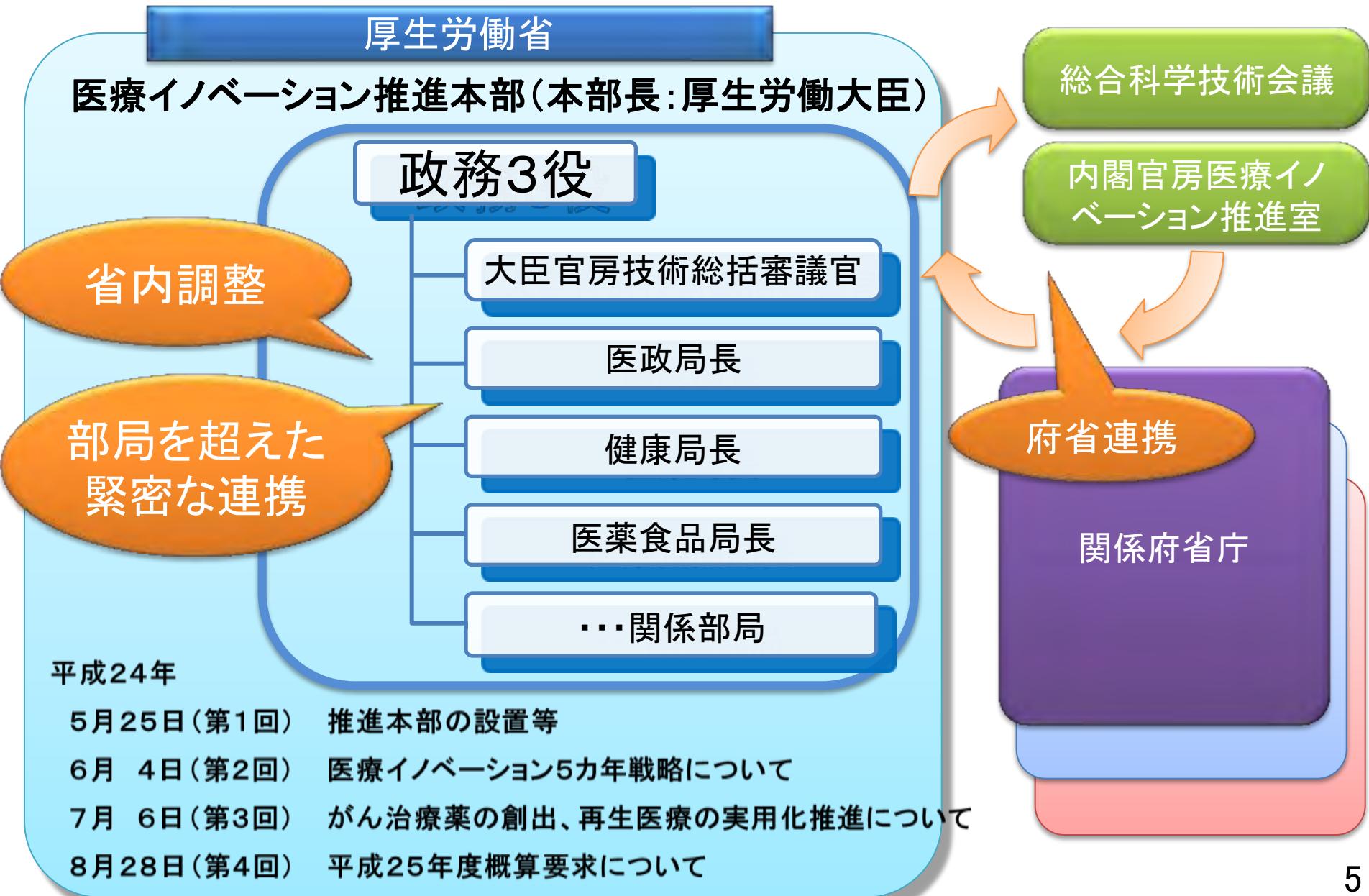


イノベーション推進のための連携体制



科学技術関係予算全体の動き②

●予算重点化の動き(前年度予算からの主な変更点)

平成25年度概算要求額 (括弧内は、平成24年度予算額・平成24年度からの増減率)

○科学技術関係予算 1, 856億円 (1, 618億円・+14. 8%)

うち 概算要求枠 : 1, 495億円
(うち復旧・復興に係る経費 : 29億円)

特別重点要求 : 361億円

◆うち厚生労働科学研究費補助金 589億円 (465億円・+26. 7%)

うち 概算要求枠 : 412億円 (465億円・▲11. 5%)
(うち復旧・復興に係る経費 : 25億円)

特別重点要求 : 177億円

【参考】 厚生労働科学研究費補助金以外は、国立試験研究機関、研究関係の独立行政法人の関係経費等である。



※括弧内は厚労科研費／事業費の各内訳)

基本的な考え方

○ 日本再生戦略のライフ成長戦略において「医療イノベーション5か年戦略の着実な実施」が求められていることから、国民が安心して利用できる最新の医療環境を整備するとともに、日本のものつくり力をいかし、日本発の革新的医薬品・医療機器や再生医療製品などを世界に先駆けて開発し、医療関連市場の活性化と我が国の経済成長を実現し、積極的に海外市場へ展開することを目指す。

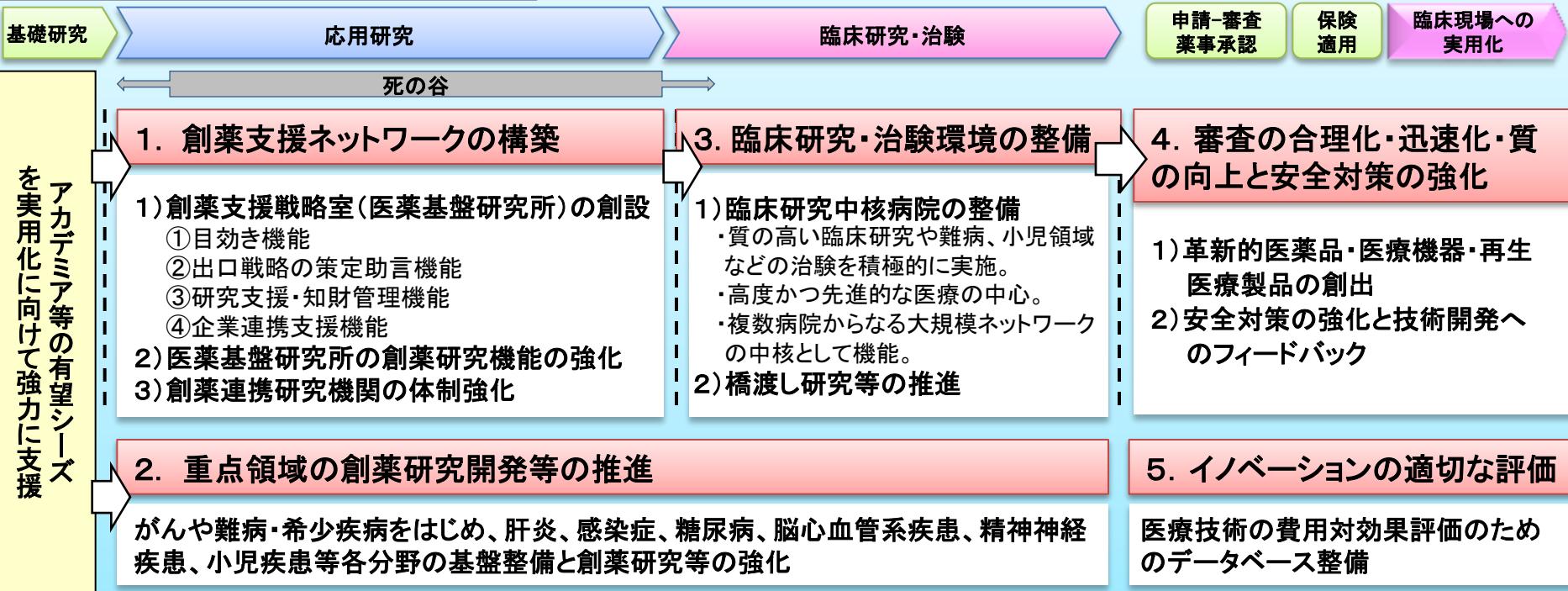
1. 創薬支援ネットワークの構築	41億円 (0/41億円)
2. 重点領域の創薬研究開発等の推進	139億円 (101/38億円)
3. 臨床研究・治験環境の整備	104億円 (7/97億円)
4. 審査の合理化・迅速化・質の向上と安全対策の強化	57億円 (30/27億円)
5. イノベーションの適切な評価	1億円 (0/1億円)
6. 再生医療の推進	37億円 (34/3億円)
7. 個別化医療(個々人に適応した医療)の推進	32億円 (5/27億円) ⁷



医療イノベーション5か年戦略の着実な推進 411億円

日本再生戦略のライフ成長戦略において「医療イノベーション5か年戦略の着実な実施」が求められていることから、国民が安心して利用できる最新の医療環境を整備するとともに、日本のものづくり力をいかし、日本発の革新的医薬品・医療機器や再生医療製品などを世界に先駆けて開発し、医療関連市場の活性化と我が国の経済成長を実現し、積極的に海外市場へ展開することを目指す。

I 革新的医薬品・医療機器の創出



II 世界最先端の医療実現

6. 再生医療の推進

- 1) 臨床研究の基盤整備及び個別研究の支援
- 2) iPS細胞等を用いた創薬等研究の支援
- 3) 安全性等評価法開発支援及び患者の登録システム構築

7. 個別化医療の推進

※個別化医療：個々人に適応した医療

- 1) 個別化医療推進のためのインフラ整備及び研究の推進
- 2) 個別化医療に資する医薬品開発の推進